

# ISO通信 第3号

太田市立毛里田中学校  
ISO委員会  
2024.1.9 発行

今回は、第2号に引き続き、各教科等の環境教育に関わる学習の様子をお伝えします。

## ① 2年総合 “尾瀬ネーチャーラーニング”

2年生は、尾瀬の自然について調べる事前学習をした後、6月27日実際に尾瀬を訪れました。雨混じりの天候でしたが、生徒達は雄大な自然に触れ、その素晴らしさを実感し、これは守っていききたいなど感じたようです。

ガイドさんから、「尾瀬の木道が地面から50~100cm高くなっているのは、大雪や大雨による冠水を防ぐため、また観光客が湿原へ立ち入るのを防ぐため」という説明を受け、「尾瀬を守るための工夫の一つが分かった」という感想も聞かれました。



尾瀬ヶ原を散策する生徒達

## ② 3年英語 “The Great Pacific Garbage Patch”

標記のタイトルは「太平洋ゴミベルト」と訳されますが、この単元は海洋投棄されるゴミが生物の生存を脅かしている事実が取り上げられています。環境問題と自分たちの生活との関連性について考え、自分たちにできることを簡単な英語で書くことがここでの目標となっています。

最近、“脱プラ”ということでレジ袋の使用低減が定着しつつありますが、こうした題材の学習を通して身の回りの資源を大切に作る意識が高まってほしいと考えています。



プラスチック被害を受けた生物

## ③ 1年道徳 “ゴミ箱をもっと増やして”

本題材は、街の中のゴミを減らすために、ゴミ箱を「増やしたほうがよい派」と「増やす必要はない派」のそれぞれの意見を全体で共有しながら考えを深め合うという内容です。最終的には、ゴミを出した人に責任があり、その人のマナー次第であるということに生徒たちは気づきました。

今まではポイ捨てしたり、落ちていたゴミをそのままにしていたが、今後はゴミ箱に捨てることや持ち帰ること、さらに散らかっているゴミは自分から拾うという意識をもつことができました。

### アルミ缶回収

ありがとうございます♡

2学期アルミ缶回収合計数

・1年	139個
・2年	340個
・3年	254個
・職員	226個

合計 959個

※後日会計報告を出します。

## ④ 1年家庭科

### “持続可能な食生活を目指して”

今、日本では1日1人当たりおにぎり1~2個分が捨てられていると言います。生徒達は、身近な食事を調理する際、栄養だけでなく無駄のない、つまり「食品ロス」の割合を減らす食品購入計画を真剣に考えました。